

# 平成30年度 事業計画

## 1 基本方針

当センターの管轄区域を始めとした長野県は、平均寿命の延伸により全国有数の長寿県となっています。こうした人生100年時代を見据え、高齢者の皆さんが健康で、そして生きがいと誇りをもって暮らせる社会づくりが重要となっています。

また、国では少子高齢化を経済成長の隘路としており、人手不足が顕在化する中、豊かな経験と知識を持ち、働く意欲のある高齢者の皆さんには積極的に就業に就いていただくよう各種施策に取り組んでいます。

この様な社会経済状況の下、会員に働く機会を提供することを通じて、会員の生きがいの充実や生活の安定、また、地域社会の発展や現役世代の下支え等に貢献するシルバー人材センターの役割は益々重要となっており、当センターにおきましても、高齢者の生きがいの充実・健康の増進・社会参加の推進という基本目的を踏まえつつ、各種事業を推進してまいります。

まず、会員の増強であります。減少傾向にある会員数も昨年度は増加に転じることができましたが、これが安定的に増加するよう積極的に広報活動を行うなど様々な施策に取り組んでまいります。

就業機会の拡大については、より多くの事業所にセンターのPRを行い会員のニーズに即した受注の拡大を図るとともに、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正により可能となった派遣会員の就業時間の拡大についても取り組んでまいります。

安全・適正就業であります。安全パトロールや研修等を通じて事故の撲滅に取り組んでまいります。

また、適正就業であります。昨年度に示された「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿って適正就業に努めるとともに、会員のマナー向上に取り組んでまいります。

さて、平成31年度には当センター創立40周年を迎えます。30年度は記念事業の計画・準備に取り掛かるとともに、31年度を初年度とする第五次5か年計画の策定を行い、当センターの更なる発展に努めてまいります。

## 2 目標数値

会員数（人）	2,120
契約金額（千円）	975,000（派遣事業を含む。）
就業率（％）	99.5

### 3 事業実施計画

#### (1) 普及啓発活動の充実

シルバー人材センターの活動を会員をはじめ地域住民・企業等に積極的にPRし、センター事業の活動を広く周知していきます。

- ア 全地区で一斉にボランティア活動を行う「シルバー奉仕デイ」の実施（年2回）
- イ 理事、事務局職員による一般家庭へのPRチラシの配布
- ウ 会員全員による自宅周辺でのPRチラシの配布
- エ 地元新聞や市・町広報紙等の積極的な活用
- オ 各種メディアへの積極的な取材依頼
- カ 高齢者を支援する団体との連携によるPR活動
- キ ホームページの充実
- ク 会員向け会報「茶の間」、「生き生きセンターだより」を通じたセンターの情報提供

#### (2) 会員の増強

会員の減少や高齢化が進む中、多様な仕事を請けられるようにするため、経験と技能・知識等をもつ会員を一人でも多く増やしていく必要があります。

- ア 入会勧誘用新聞折込チラシの頒布
- イ 全会員が友人、知人等へ入会の勧誘（ポイント制度の活用）
- ウ 女性会員増強のための「女性会員の集い」の開催
- エ 全会員研修及び新入会員研修の参加促進
- オ 就業増及び後継者づくりのための研修の充実
- カ 「会員相談日」の利用促進
- キ 入会説明会の回数を増やし、入会機会を拡大
- ク 信濃町及び飯綱町での入会説明会の実施
- ケ 住民自治協議会等地域団体と連携した会員の勧誘
- コ センターの活性化に向けた会員アンケートの実施

#### (3) 就業機会の拡大

一人でも多くの会員に、就業の機会を提供していくために、役員、会員及び職員が一体となって就業の確保に努めます。

- ア 就業情報案内による就業機会の提供
- イ 派遣事業の積極的な取組による就業機会の拡大
- ウ 会員一人ひとりが「就業開拓員」になり就業開拓
- エ 職群班が連携し、家庭からの仕事を一括受注
- オ 企業等を訪問し、継続的な仕事の新規受注を獲得

- カ 発注先へ訪問し、就業状況のフォローを行うとともに、新たな仕事を開拓
- キ 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- ク シルバー派遣事業就業時間拡大への取組み
- ケ 商工会議所、商工会等経済団体を通じた受注要請

(4) 安全・適正就業の徹底

就業中や就業途上での事故ゼロを目指し、安全対策の強化と適正就業に努めます。

- ア 全会員対象の安全研修及びマナー研修の充実
- イ 職種別の安全研修及び技術研修の充実
- ウ 安全パトロールの実施
- エ 事件事例を分析し会員に周知
- オ 「就業前点検の徹底」の推進
- カ 健康診断の受診奨励による健康管理の徹底
- キ 安全用具装着、安全標識設置の徹底
- ク 安全推進員研修の実施
- ケ 発注者に対する適正就業の周知

(5) 自主自立組織の推進

役員・会員が自主的、主体的に組織運営に関わり、社会貢献に努めます。

- ア 理事会、部会、委員会等の組織活動の活性化
- イ 地域班会議、ボランティア活動等への積極的な参加による地域班の活性化
- ウ 職群班の機能充実
- エ 事務局職員の資質向上のため研修強化
- オ 事務・事業の見直しを行い経費の節減
- カ センター創立40周年記念事業の計画・準備
- キ 第五次5か年計画の策定

(6) 関係機関との連携強化

構成市・町などと連携を図り、行政が進める各種施策に協力し、地域に貢献する事業を展開します。